

第6回 総務・庶務部会 要旨

日 時 令和4年4月15日（金） 午後7時から午後9時30分
場 所 国府地区公民館
出席者 総務・庶務部会員 19名
事務局 朝賀参事，坂入課長，須加野室長，小河原副参事，雨貝補佐，
森島係長，川崎主任，鬼澤主幹

次 第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 協議事項
 - (1) 今後の検討項目の進め方について
 - (2) 統合小学校の学校名について
 - (3) 統合だよりについて
4. そ の 他
5. 閉 会

決定事項等

- ・検討項目ごとに，各学校PTAが主体となった作業グループに分かれ，スピードアップを図る。全員で情報共有できる仕組みをつくり，必要に応じて意見を募る。
- ・統合小学校の学校名を市立「石岡みなみ」小学校と決定し，統合検討委員会へ報告する。
- ・校名の選定理由
石岡の一番南にある小学校。親しみやすいフレーズと校名に込められた「みんなで なかよく みらいにむかって」のメッセージを胸に，皆に愛され，4つの地域と学校の過去と未来の架け橋となる学校を目指していきたい。

次第に沿って，3の協議事項に進む。

- (1) 今後の検討項目の進め方について

(部会長)

検討項目毎に作業グループを作り，そこで主体的に協議を進めていくことで，スピードアップを図ってはどうか。学校単位でグループ分けすれば，意思の疎通やスケジュール調整も容易かと思う。

(委員)

各校からバランス良く人員を配置すれば，それぞれの進捗状況も把握しやすいのではないか。

(委員)

具体的にはどのような形で進めていくのか。

(部会長)

SNSやメール等を活用し、情報共有が出来る仕組みをつくれればと思っている。

(委員)

今後、部会の開催のタイミングはどのようになるのか。

(部会長)

各グループで進めていってもらう形にはなるが、最終的な報告や決定のタイミングでは部会を開催することになる。その間も全体で情報共有が出来るようにしていき、必要に応じて意見を募っていく流れを想定している。

(委員)

南小のPTAはどの項目に参加するのか。

(部会長)

体操服・校章・校歌の主担当ということで学校名を割り振っているが、その中に加わっていただく形になる。

(委員)

学校単位でグループ分けした方が、最初の動き出しもスムーズで良いと思う。

(委員)

学校毎に分かれて進めていき、タイミングが合えば他の部会員も参加できるといった形で良いのではないかな。

(委員)

情報をしっかりと共有し、独断で決めたという捉え方にならないよう注意したい。

(部会長)

具体的には、グループ毎と部会全体のLINEグループをつくり、メールや文書なども用いて情報を共有していきたいと考えている。

(委員)

実際に動き始めたなかで、試行錯誤しながら進めていけば良いかと思う。

(委員)

各検討項目の協議スケジュールの目安があるが、公募や外部委託などによって決定時期なども変わってくるのではないかな。

(事務局)

まずは、どのような方法を選択するかといったところからスタートするのかなと思う。それに応じて協議・決定までのスケジュールも見直していく場合があるかなと思う。

(部会長)

事務局にも適宜アドバイスをいただきながら、進めていきたい。

(部会長)

各検討項目のなかで、開校までに間に合わないものがあつた場合はどうするか。

(委員)

今後の取り組み方については、間に合わせるためにどうしたら効率よく進められるかといった主旨だと思う。進捗状況が芳しくない場合はスピードアップを促したり、皆で力

を合わせてやり遂げるといった意識を強く持ちたい。

(部会長)

引き続き、皆様のご協力をお願いしたい。

(2) 統合小学校の学校名について

各小学校 PTA 及び地区、事務局より 12 の候補を発表し、そのなかから協議・決定をおこなった。

学校名候補と選定理由

| | | |
|----|-------|--|
| 1 | みなみ | ひらがなが優しい感じ。低学年にもなじみやすい。 |
| 2 | よつば | 4つの学校が合わさりイメージしやすい。 四葉のクローバーの希望・幸福・愛情・健康という願いを込めた。 |
| 3 | 石岡南 | 石岡市の南に位置し認識しやすい。大幅に名前が変わらない。 |
| 4 | 城南みなみ | 城南地区と南台地区が一緒になるため。 |
| 5 | 新南 | 4校が一緒になり、新しくなるため。 |
| 6 | 石岡みなみ | 石岡の南側にある小学校のため。 |
| 7 | 石岡南台 | 「南台」は全国にあるが、校舎の位置が石岡の南台にあるため。 |
| 8 | 石岡みなみ | 石岡市の南に位置し、誰に聞かれても分かる。地域性があり、親しみ易い。 |
| 9 | 南台城南 | 城南地区、南台地区を合わせた学校名。 子供たちだけではなく、地域を含めた学校であるため。 |
| 10 | 石岡みなみ | 石岡の南にあり、南台にできて四十数年、地域になじんだ名前である。 |
| 11 | 南台城南 | 城南地区と南台地区が合わさった名前。城南という名前を残したい。 |
| 12 | みなみ | 校名に込められた みんなで なかよく みらいにむかって のメッセージが皆に愛され、4つの学校と地域の過去と未来の架け橋となることを願う。 |

(委員)

南台と城南。2つの地域の名前を入れた校名があるが、どの地域から通っているかなどの差別に繋がらないとも限らない。あたらしい学校名と考えたときに、統合後に石岡の一番南にある学校ということで、所在地にちなんだ石岡みなみ(南)や石岡南台が良いと思う。

(委員)

地域に拘らず、あたらしい学校になるといった目線でよつばを提案した。4つの学校が合わさるといったイメージがしやすいと思った。

(委員)

よつばのアイデアは校名ではなく、校章のイメージを検討するときにも活用できそうな良い名前だと思う。校名を考えるときには、やはり親しみやすさ、馴染みやすさも選定のポイントになるのではないか。石岡のどこにある学校なのかといったところで、石岡みなみ(南)が良いと考える。

(委員)

ひらがなの「みなみ」は柔らかく、親しみやすさが生まれると思う。

(委員)

子どもたちも馴染みやすい名前と考えたときに、石岡みなみ、みなみが良いと思う。

(委員)

ひらがなの校名は柔らかさがあり、みんなで なかよく みらいにむかってのメッセージ性も良いと思う。

(部会長)

意見をまとめると、ひらがなの「みなみ」が軸になると思われる。

(委員)

「石岡みなみ」は、学校の位置や親しみやすさ、メッセージ性も備えていると思う。

(委員)

同感だ。

(委員)

「みなみ」だけだと漢字からひらがなに変わっただけというイメージもある。あたらしい学校名という部分では「石岡みなみ」が良いだろう。

(部会長)

それでは、部会としては「石岡みなみ」をあたらしい校名としたいと思う。

(異議なしの声)

(3) 統合だよりについて

(部会長)

今回の部会であたらしい校名が決まった。統合検討委員会へ報告、承認の後に、統合だよりの紙面にその部分を盛り込みたい。基本的には事務局に一任し、統合検討委員会でも精査したうえで発行していく。

終了時刻 午後 9 時 50 分